

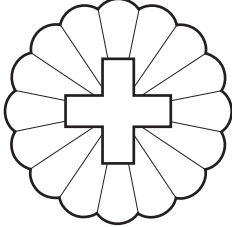
# 会報

— 8号 —

平成26年8月20日発行

発行者 皆川 浩一

広報編集者 小島南海雄



公益社団法人 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ  
指圧師会広報局

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町37-4

Tel 03(3252)8811 Fax 03(3252)8813

新企画

## はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧を知ろう

はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の理論体系、診断、施術がよくわかるようになる基礎講座です。はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の医術を体験するときの手引きとなります。

### 東洋医学と西洋医学

はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧治療は漢方医学とともに明治時代以前より受け継がれてきた伝統医療で、東洋医学と呼ばれています。明治維新後の急速な西洋化の流れの中で、医学においても西洋医学がもてはやされるようになり、東洋医学の衰退傾向が出てきました。

西洋医学はヨーロッパから発展した医学で、理論や治療法が東洋医学とは異なります。西洋医学の基本は病気の根絶です。原因を追究し、検査、手術、投薬という医療過程にその特徴があり、それらの過度な投入の弊害が近年問題になっています。その旗頭となっているのがアメリカで、アメリカの影響力の強い日本でも、現代の医療は西洋医学一辺倒といってもさしつかえないでしょう。世界的にみても西洋医学偏重の傾向がありましたが、西洋医学の検査漬け、薬漬けを見直す動きが顕著となってきました。

そこで見直されたのが、痛みの緩和や生活の質をあげることを重視した患者にやさしい医療としての東洋医学です。西洋医学けん引役となっていたアメリカはいち早く方向転換し、医科大学では東洋医学のカリキュラムを必須科目と位置付けるようになりました。この西洋医学と東洋医学の融合を統合医療といい、これからの医療の主流になるといわれています。

東洋医学は病気の原因を科学的に探求し体全体を総合的に診療する医学で、人体にやさしい医学です。日本でも統合医療へ向けて東洋医学が見直されつつあり、卒業までに東洋医学の単位の取得を義務付ける大学が増えつつあります。その東洋医学の中核を担うのが、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧と漢方なのです。

## 健康の維持・増進に役立つ日本伝統鍼灸の真髓を学ぶ 平成26年度東京都委託施術者講習会の講座内容から

当会の公益事業は、「東京都委託施術者講習会」「松塾」「杉塾」の三講座です。中でも「東京都委託施術者講習会」は、実技を通して日本伝統鍼灸の施術者である、はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師をだけでなく、一般の方々にもはり・きゅう・あん摩マッサージ指圧による施術の有効性がよくわかる講座になっております。担当する先生方は、日本でもこの業界のトップレベルの著名人です。実技も受講者の中から被験者を選びますので、一般の方々でも会場内で立候補することにより名医の施術を体験することも可能です。

なお、「松塾」「杉塾」はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の理論体系の講座となっております。はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の精神にふれてより深く追究しようとお考えの方にお勧めです。

これまでに2回実施された今年度の「東京都委託施術者講習会」のおもな内容は次の通りです。

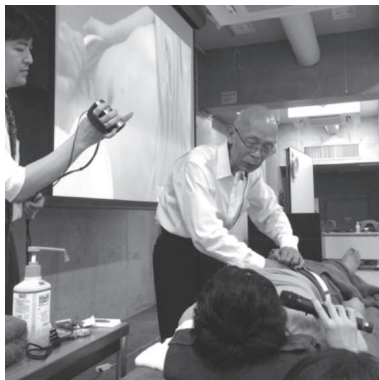
### ①精気の衰えを補い、冷えを取り、体を温めるはり治療

——平成26年度第1回東京都委託施術者講習会

講座：鍼灸治療の核心とは何か——易の太極思想に立つ積聚治療の真髓と実技

講師：小林詔司（積聚会代表・日本伝統鍼灸学会副会長）

今年度の東京都委託施術者講習会幕開けの小林先生の講義参加者はなんと130人。会場



内は国際的にも高まっている、積聚会の人気の推し量られる熱気であふれていました。積聚会の鍼灸治療は、易の太極思想に基づいています。太極とは宇宙の根源のエネルギー場のことであり、体にも精気の混沌とした集まりとして実在すると考えられています。この精気が衰えると人は病気になります。この状態を虚きょといい、体が冷えていると診断します。積聚会にとって、治療とは、虚を補い、冷えを取り、体を温めることなのです。

易は、宇宙の万物を陰と陽の二つに分け、宇宙と体の運動法則を把握します。人と天地は一体で、初潮、精通（精気にあふれ子供がつけられるようになること）、出産と潮の干満、昼夜と睡眠、気圧（湿度、温度）や重力と体調、食べ物など健康な生活に必要なすべての関係を天から授かっています。この関係を「天人合一てんじんごう」といいます。この関係が狂うと体に歪みや気の停滞（気分のふさぎ）が現れるようになります。その歪みや気の停滞を最もよく示す指標が下腹部のしこりです。

積聚会では、下腹部のしこりを積聚と呼び、主としてしこりの部分を観察しながら背中

の経穴（ツボ）に治療を施し、しこりが改善されときに治療を終わります。そのほか、幼児期の打撲やねん挫などによる古傷が、大人になってからの健康障害の原因になっていると考えるなど、特徴のある診断・治療方法を駆使しています。

実技では、解説を交えながら、腰痛など不調のある参加者にモデルとなってもらい治療の実態が公開されました。解説は盛りだくさんで時間内では収まりきらず、治療時の施術者の気の使い方、意識の置き方など、興味深い内容説明は積み残しとなってしまいました。

## 【2】灸は経穴（ツボ）に効くのではなく効かすもの

——平成26年度第2回東京都委託施術者講習会

講座：臨床力を高める深谷灸入門——効かせるためのツボとコツ

講師：福島哲也（東京九鍼研究会・灸法臨床研究会講師）

福島先生は、昭和の名灸師、深谷伊三郎が切り開いた深谷灸法の伝え手の一人。深谷灸法は、鍼灸学校で習うもぐさの形よりも長い艾炷（モグサを皮膚の上に直接置くこと）を使用し、竹筒を使って熱さの感じを緩和するのが特徴だが、「経穴は効くものではなく、効かすものである」という深谷灸法十則が示すように、取穴法や手技にも際立った工夫があります。昔の灸法書から名穴を学ぶという学術面も見逃せません。



今回、福島先生は、江戸期の文献『名家灸選』三部書から、まず帯下（女性器の分泌物）、難産、不妊症、月経症などの婦人科疾患に的をしばって講義を始めました。例えば、『名家灸選』には、「婦人の帯下で、から咳をし、痩せ、下半身が虚して冷え、長く妊娠しない」症状には、次のような指示があります。「患者の口の幅を紐で測り、これを三等分して、へそから降ろし、到達点の左右に灸を据える。それぞれ五十回」という具合です。

また、「帯下、崩漏（子宮の内部がただれて出血すること）、月経不調で腰が冷え、妊娠しない者を治す法」として、「先ず紐で左右十指の爪の長さを測り、これを三等分し、三分の一を断ち切り、残りの三分の二を用い、患者を座らせ、その三分の二を、尾てい骨の長強というツボから上へ椎骨に当て、仮の点を付ける。そして、先ほどの三分の二の長さ

### 東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会（都師会）とは

東京都はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧師会は、東京都から公益性を認定された公益社団法人で、公益に役立つ事業を行っています。公益事業とは、公衆の日常生活に不可欠な、鉄道・電話・水道・ガス・電気・医療など、公共の利益に関する事業のことで、都師会が担当しているのは医療部門です。当会の設立理念は「はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧という手技を通して、都民の健康の維持・増進に貢献する」ですので、まさに公益社団法人の名にふさわしい組織といえます。会員全員がはり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師などの国家資格免許取得者です。

の紐を半分に折り、仮の点に当て、左右に開いて届くところの二穴と仮の点の左の骨際に一穴、合わせて三穴にそれぞれ二十一回ずつ据える」とあります。

なぜ、こんな煩雑<sup>はんざつ</sup>なツボの取り方をするのか、よくわかりませんが、まじないの要素かもしれません。ともかく、あまり知られていないことで、とてもおもしろいものがあります。しかも、「世間一般では、灸は男は左、女は右に据えるというやり方が多いが、この方法は婦人の左に据える」とあるから、昔の灸法はけっこう縁起をかつぎ、陰陽論に基づく決まりごとが多かったようです。こうして、福島先生は、鍼灸学校では教わらないめずらしい文献の解説を次々に行いました。

後半は、約80人の参加者を10班に分けての実技練習でした。与えられたテーマは、ベテラン臨床家でもあまりやらない灸治療時に気を動かすというものでした。足に灸をして気を内臓の患部に届けたいときは、灸を据える部分の下に指を置き、気の流れを上に向けます。足底部に届けたいときは、逆に施灸部の上に指を置き、上に行く流れを遮断するというものです。高度な内容でしたが、福島先生が1班ずつ回って指導したことにより、この灸法への理解を深めることができました。

## 都師会公益事業の今後のスケジュール

### ①東京都委託施術者講習会

第3回 講座：これからの伝統医療

講師：石原克己（九鍼研究会会長・日本伝統鍼灸学会前学術部長）

（平成26年8月17日(日) 13時～17時。於葛飾区立かつしかシンフォニーヒルズ会議室）

第4回 講座：脈診の可能性～臨床への生かし方

講師：木戸正雄（日本鍼灸理療専門学校教務部長・経絡治療夏期大学講師）

（平成26年9月21日(日) 13時～17時。於葛飾区立かつしかシンフォニーヒルズ会議室）

第5回 講座：任督中心療法の診断・治療

講師：戸ヶ崎正男（和ら会代表・日本伝統鍼灸学会学術部長）

（平成26年11月16日(日) 13時～17時。於グローバルテクノ中野会議室）

※各回とも予告なしに予約制をとることがありますので、下記「連絡先」にお問い合わせください。

②松塾 1月を除く毎月第1土曜日（10時～12時。於都師会会館）

③杉塾 1月を除く毎月第1日曜日（10時～16時。於港区三田・東京都障害者福祉会館）

### 《連絡先》

会報に記載した内容についての確認、質問、疑問などは、下記電話、ファックス、メールで都師会事務局にお問い合わせいただくか、ホームページにてご確認ください。

電話／ 03-3252-8811

ファックス／ 03-3252-8813

メール／ toshikai8811@ybb.ne.jp

都師会ホームページ／ <http://www.tokyo89am.or.jp/>